

# Library

2017. 7・8月



八幡浜高等学校図書委員会

皆さん、夏休みです！1学期はとても忙しくなかなか本を読む時間がなかった人も、夏休みはぜひ本を借りてほしい！ということで、今月号の Library では、長いけれども読み応えのある長編小説を紹介したいと思います！



7/20(木)

八高ビブリオバトル開催！

11:30～

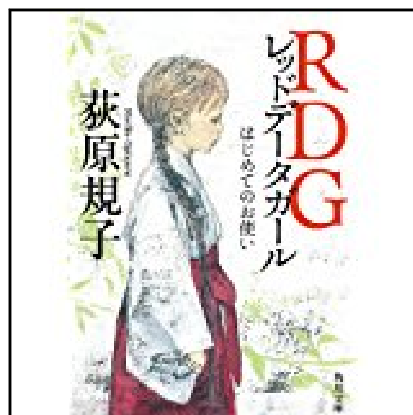
図書室にて

バトラーとして、また、ギャラリーとして参加しませんか？

## 『RDG レッドデータガール』 荻原規子

世界遺産に認定された熊野古道、玉倉山にある「玉倉神社」。そこに住む鈴原泉水子は、電子機器を壊してしまう特異体質のため、中学3年までふもとの中学と家の往復だけの生活を送ってきた。しかし、高校進学は、幼なじみの相楽深行と共に東京の「鳳城学園」へ入学するよう周囲に決められてしまう。泉水子は姫神が憑依する女性の家系であり、相楽深行はその家系を守ることを使命とする山伏の家系の出身であった。

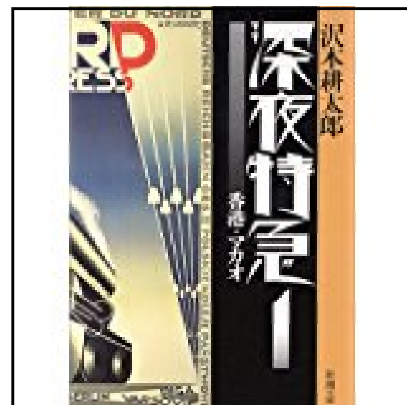
『西の善き魔女』シリーズの作者としても知られる荻原規子さんの全6巻の長編ファンタジー小説です！登場人物がとても魅力的で引き込まれます。とくに主人公の幼なじみの深行は勉強も運動も何でもこなすスーパーエリートで、そんな深行と主人公泉水子とのやりとりも必見です！



## 『深夜特急』 沢木耕太郎

インドのデリーから、イギリスのロンドンまでを、バス（特に路線バス、高速バスなどの乗り合いバス）だけを使って一人旅をするという目的で日本を飛び出した主人公「私」の物語。当初は日本からデリーまで直行してしまうつもりだったが、途中2か所のストップオーバーが認められる航空券を手にした私は香港とバンコクを選び……。様々な人々と事件に出会いながら「私」はロンドンを目指す。

バックパッカーのバイブルとしても知られている本作は、作者自身の史実を元につくられており、読んでいて各地を旅行している感覚になります。宿泊施設や交通の状況も書かれているため実際の旅行にも役に立つと思います！また、それぞれの国の良いところだけではなく、途上国の人々の貧困も赤裸々に綴っており、とても考えさせられる作品でもあります。全6巻です！ぜひ読んでみてください。



## 『巷説百物語シリーズ』 京極夏彦

舞台は徳川幕府の足元が揺らぎ始めた幕末の世。「闇」が息づき魔物の存在が恐れられていた時代に、「百物語」を世に出そうとして、物書き志願の山岡百助が諸国を巡り歩く。

そこで小股潜りの又市・山猫廻しのおぎん・鳥寄せの長耳といった小悪党たちに出遭う。彼らは、闇に葬られる事件の解決を請け負う正体不明の一味。罪人を探し出し、人間の業(ごう)を巧みな仕掛けによって裁き吊っていく。密やかな鈴の音と「御行為奉」の言葉と共に……



### 夏休み中の利用について

☆開館時間

補習がある平日

8:20~17:00

☆貸出期間

2学期始業式まで。7月中に借りた人は、5週間貸出可能ですが、その本を待っている人がいるかもしれません。

前期補習中に読み終えた本は返却をお願いします。

☆貸出冊数

5冊までOKです。

先生方から「リレーひとりで本紹介」

今月は、「サ行」のお名前の先生に紹介していただきます。

英語 仙波和代先生オススメ  
『赤毛のアン』シリーズ  
モンゴメリ (新潮社)



「明るく元気に、時に落ち込んだり悩んだりしながらも成長していくアンに励まされます。」

養護 塩崎美智先生オススメ  
『夢』 北浜邦夫 (新曜社)



「夢は私たちの誰もが見るものでありながら、その内容は日常生活や現実隣接したものから、人知を超えるようなものまで限りがありません。科学者として脳と夢、睡眠のつながりについて分かりやすく分析した本です。」

商業 坂井昭太先生オススメ  
『「また必ず会おう」と誰もが言った』  
喜多川泰 (サンマーク出版)



「人と出会うことが楽しくなったり、今すぐ外へ飛び出したいと思えたりする作品です。」